

かつて読んだ古典再び味わう

英語講師 清水 武 68 (東京都昭島市)

高校時代、担任の教師から「夏休みの間に古典文学、なるべく大作を読みなさい」と指導を受けたことを今も思い出します。

トルストイの「戦争と平和」やセルバンテスの「ドン・キホーテ」などを図書館で借りて通読しました。難解でしたが、主人公にも共感もし、気持ちの高ぶりを覚えたものです。

定年後の現在、私は古典文学を再読して、その舞台の街を訪ねる「世界文学紀行」をしています。50年前に読んだ作品の舞台に立つことは何事にも代えがたい喜びがあります。

古典文学は世紀を超えて多くの人々に愛されてきました。この夏、腰を据えて読んでみてはいかがでしょうか。昔読んだ作品も、初めて読む作品も何か新しい発見があると思います。

